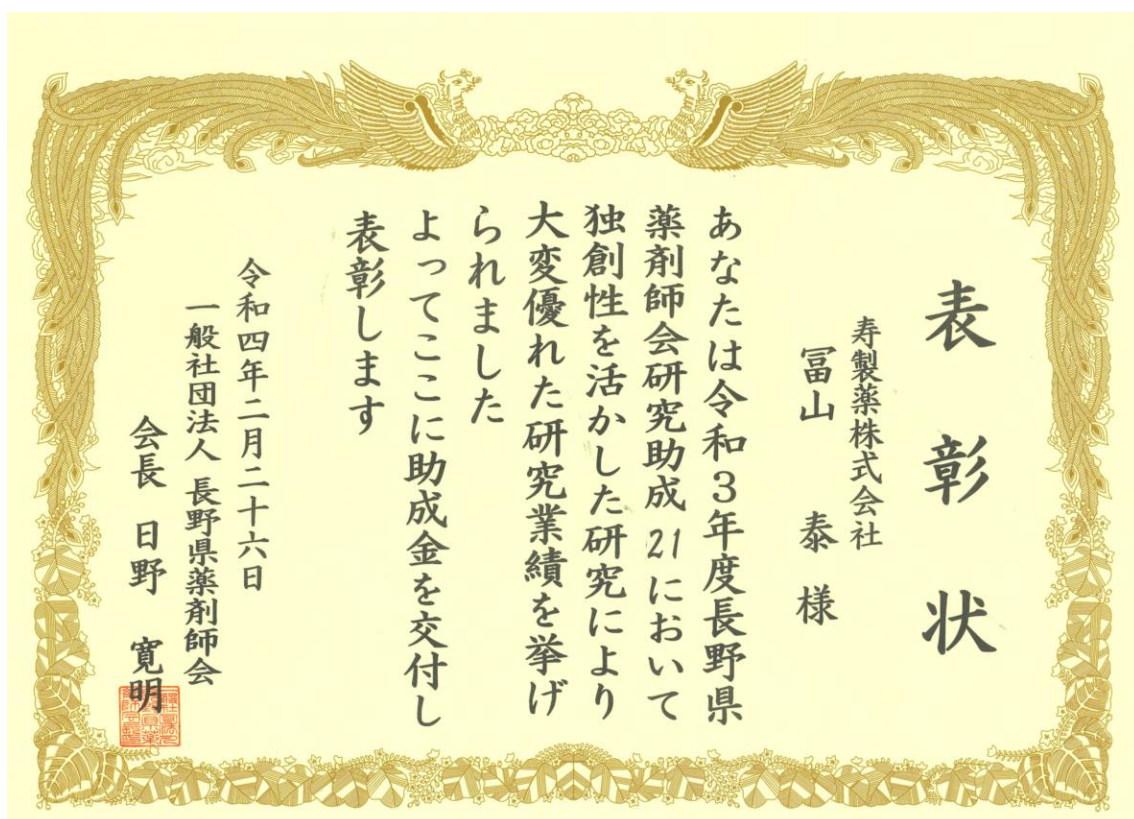


令和3年度「長野県薬剤師会研究助成 21」に独自製剤技術の「[かわら OD 錠®](#)」の研究が採択されました。

「対象研究課題名：利便性を考慮した製品工夫（カラテ錠）について」

助成対象者：寿製薬株式会社 代表取締役社長 富山 泰



令和3年度「長野県薬剤師会研究助成 21」二次審査より

【審査員講評】

- ・ 製剤技術と調剤の利便性を結び付けて検証を行った点がとても興味深いと感じました。現場からの評価を調査しても面白いかもしれません。
- ・ 調剤業務の中に錠剤を半錠にすることはよくある。今回錠形の形づくりの中での工夫を聞き大変参考になった。調剤時間の短縮や半錠後の安定性など仕事に役立つ発表だと感じた。自分たちと違う仕事環境の発表は初めてが多くとてもよかったです。また今後の発表にも期待したい。
- ・ 半錠化は大変な作業なのでなるべく簡易にできるよう患者や薬剤師にとって有益な製剤の開発に期待しています。

- ・ 「かわら錠」の利便性の特性、口腔内崩壊錠への応用について図・表を適切に用い論文として良く構成されている内容でした。製剤としてのニーズを汲み取った先見性もみられ、製剤の知識に乏しい方でも非常に理解しやすく、うまくまとめられていると思います。今後は、薬剤師の業務負担はもちろんのこと、バラ包装などの安定性、自動錠剤分包機での使用可否などについてさらに検討を進めていただけたらと思います。
- ・ 正確な調剤を責務とする薬剤師にとって、有益な研究内容と考えます。小生自身も大変勉強になりました。今後も患者と医療スタッフ双方が恩恵を受けることのできる製剤開発を期待しております。一点、疑問に思ったのは、錠剤の成分比が変化することにより、分割性のデータも変わってくるのでしょうか？
- ・ 対物から対人業務への移行の中で、調剤の調整業務の簡素化は重要であると思うし、そのような働きかけの発表で良かったです。
- ・ 病院では錠剤を半分に分割する機会は多く、「かわら錠」は大変有用であると思います。病院・診療所での使用が当たり前になるよう、引き続き開発、検証、さらには啓蒙をよろしく願いいたします。
- ・ 利便性を考慮した製品工夫ということで今回「かわら錠」に焦点を当ててかなり深く研究された内容だったと思います。論文の構成、妥当性、完成度どれも良かったと思います。今後もさらに利便性の良い製品が開発されることを期待します。
- ・ 「かわら錠」は錠剤分割に割く時間が短縮、分割誤差の低減など調剤業務の負担軽減に有効であると同時に患者さんの待ち時間も短縮にも有効な製剤である。今後、このような製剤構造が普及することが望ましいと感じた。今後は高齢化が進み、OD錠へのニーズにも対応できる製剤の開発も期待したい。

長野県薬誌 りんどう 3月号 掲載

**助成対象者：富山 泰氏**

**所属機関名：寿製薬株式会社**

**対象研究課題名：利便性を考慮した製品工夫（カラテ錠）について**

**発表学会大会：第54回北陸信越薬剤師学術大会**

カラテ錠（かわら錠）について、薬剤師の調剤業務のひとつである錠剤分割の利便性向上について検討した研究発表でした。調剤の所要時間のみならず、重量や含有量にも着目し、正確な調剤についても検討した点が高く評価されました。高齢化が進むなか、今後はOD錠へのニーズにも対応できる製剤の開発にも期待されます。